

芙蓉

vol. 49

2015.7月 発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地
TEL (0545) 52-0402 FAX (0545) 55-1119
<http://www.fuyoukai.org>

児童養護施設	ひまわり園	TEL.0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	TEL.0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL.0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL.0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL.0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL.0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL.0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL.0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL.0545-30-8324
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL.0545-55-1811
複合型サービス	みぎわの里	TEL.0545-30-7952



「創設時に渡邊代吉に協力した人達」

恩賜記念みどり園園長 内藤 順敬

明治三十四年に創設した子守学校の破綻により、引き取り手のない二人の身体の不自由な子どもと共に生活することを決めた事が富士育児院の創設となるのだが、当時協力者として二人の人物があげられる。渡邊政太郎と原子基である。二人はキリスト教者であり社会主義活動家にして、当時社会主義活動家静岡三人組と呼ばれている仲間の二人である。他の一人は深尾紹で後に英国ベーデン・パウエル卿の創始したスカウト運動を知り、スカウティング・フォ・ボーイを翻訳、静岡県でも最初にスカウト活動を始めた人であるが、富士育児院には、直接の関係はない。

前者二人は共に濃尾育児院で無給職員として働いた経験があり、又、渡邊政太郎は明治二十九年北川ハツ創設の東京孤児院でも働いた経験のある事から、渡邊代吉の事業開始を知り協力者として参加した。当時草の根レベルの経済的に恵まれない基督者であり社会主義者である人々は基督教関係の慈善事業家の元で無給で奉仕的に働いている人が多かった様である。

渡邊政太郎は山梨の農家の出で、手に理髪の技を持ち、濃尾育児院では子供の散髪をやったり子供の出来ない力仕事をして手伝いをしていた。濃尾育児院へは東京のYMCAからの紹介で務める様になったと言われている。氏は富士育児院開設に際して暫く協力したが運営上の意見の相違からまもなく院を離れ現在の富士市鷹岡にて平民床と名付け理髪所を開業した。原子基によると『…「労働者神聖也」の扁額を看板にして、労働者の為なら八銭の断髪料を五銭にまけて、新聞を呉れて本を貸して、おまけに熱誠な談話をして聴かせる』（直言 明治三十八年四月十三日付）として紹介されている。

原子基は青森県弘前の下級武士の出身で牧師の紹介で目の不自由な二人の妹ヒサ子（七歳）八千代（八歳）を濃尾育児院に預けたのは三十五年の一月で、そのまま濃尾育児院で無給で働いた様である。渡邊政太郎に誘われたか原子基も富士育児院の創設の頃から協力者として働いた。妹二人（ヒサ子、八千代）は明治三十七年度の富士育児院の入所児として記録に残っている。原子基は創立以来事務員として、又財源確保の行商やその後の幻灯機を使っの講演募金活動にも尽力した。渡邊代吉は原子基に対し『…然るに創立以来、一意専心、忠実に我が院の為に盡瘁せられ、共に多年の辛酸を嘗め来られし、事務員原子基氏が止み難き事情に由り辞して北海道に赴かれたのは、院一同の誠に痛惜措く能わざるを得なかつたのであります。』と評価している。

原子基は社会主義活動家としてはこの様な慈恵救済活動ではもの足らず、明治三十八年四月には赤い箱車に幻灯機や書籍を満載し社会主義の伝道行商を深尾紹と試みたが、官憲の弾圧により一ヶ月で断念せざるを得なかつた。その後活路を求めて北海道真狩村ノボリエンコロ地区（現留寿都村字泉川）に深尾紹、と現静岡市清水区出身の佐野安吉（赤い靴を履いていた女の子義祖父）と共に開拓入植、平民社の平民農場として開拓に励んだが、土地条件の極めて悪いこと、農業経験の不足や霜雪害にみまわれ凶作が続き、火事に遭い、富士育児院から引き取り共に平民農場に住んだ妹達の一人を栄養失調でなくしたりで、余儀なく三年余りで北海道開拓活動から撤退せざるを得なかつた。その後は種々社会主義活動に活躍したが最終的には仏教に改宗して僧侶になったと言われている。（参考大逆事件とその周辺より）

みぎわ園

動物と触れ
合いました!

先日、日本平動物園に行ってきました。珍しい動物を見て、美味しいものを食べて、お土産を買って一日楽しく過ごしました。

4月に行ったイチゴ狩りには、入居者様の娘様や奥様が同行して下さり、ご家族との笑顔一杯の時間を過ごされました。

普段は、部屋で読書をする方、御自分の信仰を大切に過ごす方や買い物と一緒にいたり、面会のご家族と時間過ごす方など、いろいろな時間の過ごし方があります。それらの時間を入居者様には大切に過ごしていただいています。これからも、ご家族と共に楽しい時間をたくさん提供していきたいです。



おいしい
おいしい

ふようデイサービスセンター

ふようデイサービスセンターでは5月に『富士サファリパーク』・市役所屋上の『ふじさんてらすミエルラ』に行きました。『ふじさんてらすミエルラ』では「こんな身近なところに素敵なお所があるのね」と喜んで下さり、てっぺんにある「希望の鐘」を鳴らしてはしゃぐシーンも見られました。

6月には恒例の『大運動会』を催しました。

『大運動会』



『遠足での記念撮影』

デイサービスセンターみぎわ園



少しずつ暑くなってきた今日この頃。

暑さに負けず日々楽しく過ごしていただいています。

5月には中央公園にバラの見にでかけました。

現在は七夕飾りの製作を行っています。



みぎわの里

バラを見に行ってきました

中央公園へバラを見に行ってきました。様々な色・形のバラが咲き誇り、優雅に迎えてくれました。

皆様、口を揃えて「きれいだねえ〜。」と、バラに負けない素敵な笑顔の花を咲かせながら、喜ばれていました。

バラ鑑賞後には青空の下でお弁当を召し上がり、心もお腹も満足されていました。



みどり園

☀️ 5月

お楽しみ会で、クッキーを作りました。

かわいらしいこいのぼりが、たくさん出来上がり、子ども達はとても喜んで食べていました。



6月 🦋

虫歯菌を釣って、やっつけよう!



散歩の途中、虫を発見!

みどり園では、今年度から新たに小規模グループによる養育をはじめました。5名の子ども達と保育士3名で、より家庭に近い養育を行っています。



食事は子どもの目の前で盛りつけをしています。



2Fのサンデッキに出てシャボン玉をしました。



水遊び、楽しいよ!



七夕飾り制作

ひまわり園

ひまわり園では月に一回、各ユニットで調理実習を行っています。いつもは厨房で作ってもらい配膳を行って食事しているのですが、この日は、職員と子どもで自分達のご飯を作って食べることにしています。今回の調理実習では、オムライス、サラダ、デザートを作りました。



大地

みんな積極的に手伝ってくれて、お姉さんも助かりました。



りんどう

中高生が部活動等で不在だったので、小学生が中心になって頑張ってくれました。



けやき

見た目もきれいに上手くできました。



銀河

オムライスは上手く作れたのですが、片付けは苦手です…



かえで

包丁を使っての作業もあり、大きい子が見本を見せる姿が見られました。



さくら

お姉さんに手伝ってもらいながら上手に作れました。



ひろみ



運動会

5月の青空の小、中学校の運動会がありました。ひろみとしては小学校の運動会は久しぶりです。普段では見られない子どもの真剣な姿を見られるのはとても新鮮で、少し誇らしい気持ちにしてくれます。またひろみ保育士が作るお弁当は、味は抜群で、どのご家庭のお弁当にも引けを取らない豪華なもので、それもまた誇らしい気持ちになります。



平成26年度 社会福祉法人芙蓉会 事業報告

法人本部

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は111年の歴史と共に地域に愛され、民間社会福祉としての活動と役割を果たすべく、社会福祉支援を要する人々への相談・援助・支援、地域福祉活動、社会貢献等々に重点をおきながら事業を推進いたしました。

平成26年度は、社会福祉法人に求められている高い公益性(適正な法人経営)や事業経営の透明性をめざして積極的な情報開示に努め「社会福祉法人現況報告書」を独立行政法人福祉医療機構(WAM NET)、全国社会福祉経営者協議会に情報提供し地域社会の信頼性を一層深めるよう努力いたしました。

児童養護施設 ひまわり園

平成23年に「社会的養護の課題と将来像の実現に向けて」が厚生労働省から発表され、社会的養護の必要な児童を取り巻く制度は、大きく変容しようとしています。これに沿って施設の小規模化、地域分散化、里親委託等、家庭的養護の推進が今後の社会的養護政策の柱として進められることになりました。平成26年度は静岡県下においても、県内児童養護施設、乳児院、里親、行政機関で4回の検討会を行い、各施設の「家庭的養護推進計画」と「都道府県推進計画」が策定されました。それによって、今後はひまわり園も施設の小規模化、小規模グループブレイク化、地域分散化などを検討していくこととなります。

平成24年度以降、静岡県は家庭的養護の推進に向けて、里親委託を積極的に進めており、静岡県の里親委託率は20%を超え、静岡市では40%に届く勢いです。里親委託は基本的に乳幼児が多いため、施設入所児童の幼児の割合は年々減少してきています。

平成26年度のひまわり園は74名(幼児8名、小学生34名、中学生17名、高校生14名)で事業を開始いたしました。1年間の新規入所児童数は12名(25年度3名)で退所児童数は14名(25年度11名)でした。在籍児童数は月平均78名(充足率86.7%)でした。

一時保護受入児童数は延べ15名(7件)で、富士市からの委託契約で実施しているショートステイは延べ6名でした。

26年度に高等学校を卒業した児童3名のうち、2名は企業に就職し、1名は専門学校に進学しました。中学校を卒業した児童は8名おり、公立高校3名、私立高校4名、特別支援学校高等部に1名進学しました。

平成25年度に引き続き、26年度も静岡県からの委託事業として「被虐待児童等処遇向上モデル事業」(委託費1,500,000円)を実施しました。ひまわり園では学習指導、ヨガ教室、ハンドベル指導の3つの事業を学力向上、情緒の安定を目的として取り組みました。

恩賜記念みどり園

平成26年度は暫定定員24名で事業を実施しました。年度当初の在籍児童数は19名でのスタートでした。年間を通じて在籍児童が23名を超えることがなく、定員30名での充足率は年平均で73%という結果になりました。これは、厚生労働省が推進している「家庭的養護」に関する施策、特に里親委託推進の影響が強く出てきていると考えられますが、入所児童11名(一時保護からの変更4名を含む)、一時保護児童9名計16名中6名が被虐待児であり、内4名が頭蓋骨折や、揺さぶられ症候群による硬膜下血腫を有する重度の身体虐待を受けた乳児、親の同意が受けられずに口唇口蓋裂の手術さえできない状態で緊急一時保護された子ども達でした。

また、退所児童11名中2名が養育里親家庭に委託されましたが、里親委託率は前年の45.4%から18.2%と大幅に減少しました。措置入所で在籍していた30名中15名が被虐待児の認定を受けた子ども達のため、家庭復帰率は36.4%と前年と変わりませんが、特別養子縁組の対象となるのが難しい子や、発達上の遅れが顕著で、児童養護施設や知的障がい児施設への措置変更が難しく、3歳を過ぎて受付け入れ先が見つからない幼児が増えていることも原因の一つと思われます。

平成26年度はみどり園としての家庭的養護推進計画を作成しました。建設してから40年経過する園舎の建て替えを平成34年頃に設定すると共に、発達上の課題を多く有する乳幼児の治療を含めた養育体制の構築や、暫定定員が続く定員の削減、養育単位の小規模化を推進するための方策に今後15年掛けて取り組む計画としました。この計画の中に記載した定員の削減を考慮し、平成26年度は暫定定員24名の常勤職員配置としましたが、年度当初に看護師が定員を満たしていない状態でしたので、看護師の不足分を非常勤保育士の雇用で補

いました。このため小規模グループケアは実施しませんでした。常勤看護師については年間を通して募集しましたが、補充ができず非常勤の准看護師2名の採用にとどまりました。

基本目標や実施目標に掲げた、愛着形成の促進による「よりよい関係作り」に関する取り組みは、ユニット制による養育や、非常勤保育士や学生アルバイトの雇用を増やすことにより、日中一人の養育者が対応する児童数を少しでも減らすという、養育単位の小規模化への取り組みや、静岡県による被虐待児等処遇向上モデル事業を受託し、児童精神科医山崎知克医師に年4回の愛着行動評価と診察及び、ビデオカンファレンスの実施によるスーパービジョンを受けた結果、当初は当園の対象児童の75%に気質的・環境的な障がいの傾向があるといわれていましたが、対象児童で4回以上検査を実施した14名中6名に数値的改善が認められる結果が出ました。それらの子どもを正常発達に近づけるための支援の方法や、発達障害を有する子ども達に有効な関わり方を学ぶ機会を得て、子ども達への支援の充実を心掛けました。モデル事業では他に、中村由実子講師による隔週1回のリトミックのセッションを幼児のグループで実施しました。この他にも、小池喜子さんの協力を得て、週2回、発達上の課題が顕著な幼児4名にプレイセラピーを実施するなど、子ども達の心の安定や、より一層の関係性の向上に努めました。

また、平成24年度より設置した第三者評価・自己評価委員会は、毎月1回委員会を開催し、園内の現状の評価や、前年に作製した運営面や業務内容についての改善に向けた計画の取り組み状況の確認や見直しを実施し、より子ども主導の養育を目指して課題克服への取り組みを進めることができました。

地域小規模児童養護施設ひろみ

平成26年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:平成26年4月1日)、本体施設の支援のもと、24時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

平成26年度は、中学生3名、高校生2名でのスタートとなりました。ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持つように努めました。高齢児が多い為、出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。その一環である児童会「キンモクセイの会」と、子どもと職員の話合いの場である「ひろみ会議」の充実を図りました。行事についても、この話し合いでの意見をもとに計画、実行致しました。また地域との関係を大切にすることを心がけました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切することを意識しました。地域の防災訓練やバーベキュー、運動会等の行事へ主体的に参加、協力することで、町内会の方々から感謝の言葉を頂けることができました。

また児童福祉施設の小規模化、個別化が求められている中で、他施設の見学や資料提供などの依頼がありましたので、積極的に受け入れていきました。そこでは地域小規模施設の現状や課題、ひろみが培ってきた実践的な知識を外に発信することが出来ました。

特別養護老人ホームみぎわ園

平成26年度は、8%消費税に始まる介護保険事業収支に於いて費用関係の影響を、入居系各事業の稼働率、特に特養、ショートステイ、認知デイサービス部門での実績は評価できる所であった。介護事業過当競争が激しい通所介護、居宅事業所においては人事異動がありながらも努力しながら、この吸収を多少回避するに至る経営状況であったと思われます。

本年度は、看護小規模多機能型居宅介護みぎわの里の開設に向けての建設補助金申請、事業運営計画等に追われた年度であり、建設については匠達の叡智により意に合った木造平屋建ての施設として12月完成し、富士市地域密着型施設サービスとして市の老人福祉整備計画の一役を担う事ができました。次の時代、地域と共にある介護福祉サービス施設として大きく期待する所です。介護現場においては、例年になく入退居者が落ち着いた年度であり、退所者については9割が看取り介護(ターミナルケア)の中でお送りをし、特養サービス介護での方向が定まってきた感があります。

エネルギー削減計画の一つとして、天然ガス(LNGガス)への切替えとボイラー設備更新を進め安全管理が達成できました。人材育成については、新人教育(プリセプターマネージメント)に向けた教育担当制での1年を掛け介護現場での実践、自立、技術認定制度の中の認知症実践者研修認定者、喀たん吸引等2号研修受講資格者等、これからの時代を担う有資格認定者の充実を図りました。

平成26年度 社会福祉法人芙蓉会 会計報告

資金収支計算書

第1号の1様式
自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日
(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入			
介護保険事業収入	624,386,000	610,185,194	14,200,806
児童福祉事業収入	427,190,000	425,138,296	2,051,704
借入金利息補助金収入	258,000	229,050	28,950
経常経費寄附金収入	3,483,000	3,483,789	△789
受取利息配当金収入	1,330,000	1,224,052	105,948
その他の収入	11,090,000	12,977,698	△1,887,698
事業活動収入計(1)	1,067,737,000	1,053,238,079	14,498,921
支出			
人件費支出	676,257,000	683,031,445	△6,774,445
事業費支出	182,944,000	178,894,904	4,049,096
事務費支出	121,618,000	117,783,200	3,834,800
利用者負担軽減額	833,000	900,812	△67,812
支払利息支出	4,161,000	3,992,223	168,777
その他の支出	6,630,000	6,014,676	615,324
流動資産評価損等による資金減少額	19,000	18,451	549
事業活動支出計(2)	992,462,000	990,635,711	1,826,289
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	75,275,000	62,602,368	12,672,632
収入			
施設整備等補助金収入	41,305,000	41,240,000	65,000
設備資金借入金収入	50,000,000	50,000,000	0
施設整備等収入計(4)	91,305,000	91,240,000	65,000
設備資金借入金元金償還支出	29,230,000	29,230,000	0
固定資産取得支出	154,680,000	147,738,403	6,941,597
施設整備等支出計(5)	183,910,000	176,968,403	6,941,597
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△92,605,000	△85,728,403	△6,876,597
積立資産取崩収入	666,000	1,736,175	△1,070,175
その他の活動による収入	0	88,952	△88,952
拠点区分間繰入金収入	17,287,000	0	17,287,000
その他の活動収入計(7)	17,947,000	1,825,127	16,121,873
長期運営資金借入金元金償還支出	9,996,000	9,996,000	0
積立資産支出	19,076,000	20,160,111	△1,084,111
拠点区分間繰入金支出	17,287,000	0	17,287,000
その他の活動による支出	0	1,945,320	△1,945,320
その他の活動支出計(8)	46,359,000	32,101,431	14,257,569
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△28,412,000	△30,276,304	1,864,304
予備費支出(10)	3,670,000	3,670,000	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△45,742,000	△53,402,339	7,660,339
前期末支払資金残高(12)	312,684,548	312,684,548	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	266,942,548	259,282,209	7,660,339

(注) 予備費支出△3,670,000円は下記の科目に充当し使用しました。

「人件費支出」 職員給料支出 △100,000円、非常勤職員給与支出 100,000円
「事務費支出」 修繕費支出 2,610,000円、雑支出 70,000円
「積立資産支出」 人件費積立資産支出 990,000円

事業活動計算書

第2号の1様式
自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日
(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減
収入			
介護保険事業収益	610,185,194	597,130,571	13,054,623
児童福祉事業収益	425,138,296	457,363,316	△32,225,020
経常経費寄附金収益	3,483,789	2,702,494	781,295
サービス活動収益計(1)	1,038,807,279	1,057,196,381	△18,389,102
費用			
人件費	686,953,004	676,583,072	10,369,932
事業費	178,894,904	175,231,284	3,663,620
事務費	117,783,200	104,600,727	13,182,473
利用者負担軽減額	900,812	724,197	176,615
減価償却費	74,980,729	73,137,853	1,842,876
国庫補助金等特別積立金取崩額	△50,209,630	△50,169,120	△40,510
徴収不能額	18,451	0	18,451
サービス活動費用計(2)	1,009,321,470	980,108,013	29,213,457
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	29,485,809	77,088,368	△47,602,559
収入			
借入金利息補助金収益	229,050	277,074	△48,024
受取利息配当金収益	1,224,052	1,067,402	156,650
その他のサービス活動外収益	12,977,698	10,390,660	2,587,038
サービス活動外収益計(4)	14,430,800	11,735,136	2,695,664
支払利息	3,992,223	4,218,504	△226,281
その他のサービス活動外費用	6,014,676	6,507,310	△492,634
サービス活動外費用計(5)	10,006,899	10,725,814	△718,915
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	4,423,901	1,009,322	3,414,579
経常増減差額(7)=(3)+(6)	33,909,710	78,097,690	△44,187,980
収入			
施設整備等補助金収益	41,240,000	13,445,000	27,795,000
その他の特別収益	277,225	125,400	151,825
特別収益計(8)	41,517,225	22,570,400	18,946,825
費用			
固定資産売却損・処分損	438,086	74,490	363,596
国庫補助金等特別積立金積立額	25,230,000	9,500,000	15,730,000
その他の特別損失	0	65,772,258	△65,772,258
特別費用計(9)	25,668,086	84,346,748	△58,678,662
特別増減差額(10)=(8)-(9)	15,849,139	△61,776,348	77,625,987
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	49,759,349	16,321,342	33,438,007
前期繰越活動増減差額(12)	400,856,058	428,317,864	△27,461,806
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	450,615,407	444,639,206	5,976,201
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	793,709	11,531,708	△10,737,999
その他の積立金積立額(16)	18,255,711	55,314,856	△37,059,145
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	433,153,405	400,856,058	32,297,347

財産目録

平成27年3月31日 (単位：円)

第3号の1様式
自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日
(単位：円)

資産の部	前年度末	増減	負債の部	前年度末	増減
流動資産	299,097,753	△46,580,351	流動負債	129,744,544	15,306,988
現金預金	190,706,500	△252,683,871	事業未払金	25,538,453	1,890,660
事業未収金	95,270,676	89,596,439	その他の未払金	5,400,000	3,300,000
未収金	588,405	742,160	1年以内返済予定設備資金借入金	42,138,000	14,988,000
未収補助金	11,339,194	1,181,160	1年以内返済予定設備資金借入金	0	9,996,000
立替金	197,678	312,850	未払費用	8,143,671	1,258,028
前払金	234,800	1,017,200	預り金	639,890	563,210
前払費用	760,500	144,424	職員預り金	93,530	△189,910
固定資産	2,379,965,941	2,299,316,049	賞与引当金	47,791,000	3,493,000
基本財産	1,908,578,702	1,657,146,945	固定負債	359,178,392	△6,017,041
土地	457,412,898	261,968,350	設備資金借入金	345,940,000	185,790,000
建物	1,446,182,219	1,390,195,010	長期運営資金借入金	0	△180,008,000
普通預金	4,983,585	4,983,585	退職給付引当金	13,238,392	200,959
その他の固定資産	471,387,239	642,169,104	拠点区分間長期借入金	0	△12,000,000
土地	17,531,137	212,975,685	負債の部合計	488,922,936	479,632,989
建物	7,618,299	6,971,580	純資産の部	2,190,140,758	2,165,361,164
造作	10,393,887	11,071,924	基本金	345,258,921	345,258,921
構築物	23,640,565	15,265,408	国庫補助金等特別積立金	1,053,848,676	1,078,828,306
機械及び装置	0	4	その他の積立金	357,879,756	340,417,879
車両運搬具	2,586,606	3,476,664	人件費積立金	115,535,022	115,552,533
器具及び備品	31,990,268	18,527,475	施設整備等積立金	97,010,058	79,015,281
建設仮勘定	0	4,483,500	施設運営費積立金	98,950,303	98,957,745
ソフトウェア	199,885	300,580	植松茂子奨学積立金	45,384,373	45,892,320
投資有価証券	50,000	50,000	記念事業積立金	1,000,000	1,000,000
長期貸付金	4,160,000	3,398,900	次期繰越活動増減差額	433,153,405	400,856,058
拠点区分間長期貸付金	0	12,000,000	うち当期活動増減差額	49,759,349	16,321,342
退職給付引当資産	13,238,392	13,037,433	流動負債合計	129,744,544	15,306,988
人件費積立資産	115,535,022	115,552,533	固定負債合計	359,178,392	△6,017,041
施設整備等積立資産	97,010,058	79,015,281	負債合計	488,922,936	479,632,989
施設運営費積立資産	98,950,303	98,957,745	純資産合計	2,190,140,758	2,165,361,164
植松茂子奨学積立資産	45,384,373	45,892,320	流動負債合計	129,744,544	15,306,988
記念事業積立資産	1,000,000	1,000,000	固定負債合計	359,178,392	△6,017,041
差入保証金	150,000	120,000	負債合計	488,922,936	479,632,989
長期前払費用	1,948,440	72,072	純資産合計	2,190,140,758	2,165,361,164
資産の部合計	2,679,063,694	2,644,994,153	負債及び純資産の部合計	2,679,063,694	2,644,994,153

※平成26年度事業・会計報告は、紙面の都合上縮小して掲載しています。
事業・会計報告は、当法人ホームページでも閲覧できますのでご覧下さい。

資産・負債の内訳	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	190,706,500
現金	317,098
普通預金	75,192,206
定期預金	20,046,662
事業未収金	40,618
未収金	34,916
未収補助金	57,600,000
立替金	37,475,000
前払金	2,316,000
前払費用	9,270,676
流動資産合計	299,097,753
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
土地	457,412,898
建物	1,446,182,219
普通預金	4,983,585
基本財産合計	1,908,578,702
(2) その他の固定資産	
建物	17,531,137
造作	7,618,299
構築物	23,640,565
機械及び装置	4
車両運搬具	2,586,606
器具及び備品	31,990,268
建設仮勘定	0
ソフトウェア	199,885
投資有価証券	50,000
長期貸付金	4,160,000
拠点区分間長期貸付金	0
退職給付引当資産	13,238,392
人件費積立資産	115,535,022
施設整備等積立資産	97,010,058
施設運営費積立資産	98,950,303
植松茂子奨学積立資産	45,384,373
記念事業積立資産	1,000,000
差入保証金	150,000
長期前払費用	1,948,440
その他の固定資産合計	239,965,941
資産合計	2,679,063,694
II 負債の部	
1. 流動負債	
事業未払金	25,538,453
その他の未払金	5,400,000
1年以内返済予定設備資金借入金	42,138,000
未払費用	8,143,671
預り金	639,890
職員預り金	93,530
賞与引当金	47,791,000
流動負債合計	129,744,544
2. 固定負債	
設備資金借入金	345,940,000
退職給付引当金	13,238,392
固定負債合計	359,178,392
負債合計	488,922,936
差引純資産	2,190,140,758

法人本部
ひまわり園
みどり園
ひろみ
みぎわ園

新入職員紹介

みぎわ園



渡邊 実里



大石 侑里



亀井 彩加



塩川 希



渡辺 由香



千原 順子



藤澤 貴子



戸巻 達也

みぎわ園



川口 光恵



伊藤 麻希



加藤 光



鈴木 恵美



浅井 里絵



林 真理子



山崎 春奈



増田 彩香

ひまわり園



赤石 泰子



山本 祐輝



樋澤 里保



竹田 茉紋



齊藤 千夏



寅沢 佳子



佐藤 瑠美

ふよう居宅

吉原西部包括

芙蓉会の新しい仲間たちです!



ありがとう

当法人にたくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げここに紹介させていただきます。(敬称略)

- 安藤輝美 ●大村幸司・小百合 ●沖本洋子 ●小穴菅登 ●落合次郎 ●加藤俊洋 ●金子圭介
- 菊池光男 ●木村悦子 ●(株)クリーンアース・コミュニティ ●小西徳三 ●小林栄子 ●小林園
- 佐藤鉄雄 ●静岡市里親家庭支援センター ●白井ひろみ ●ジャトコ(株) ●鈴木重勝 ●月岡米子
- 戸巻紀美子 ●戸巻ひさ子 ●中村暁美 ●内藤恵美子 ●野上由紀子 ●野村証券 沼津支店
- 濱田隆彦 ●NPO法人フードバンクふじのくに ●富士市社会福祉協議会 ●堀川ちと子 ●松野邦章
- 前嶋よし子 ●マルハン鷹岡店 ●松本芳泰 ●渡邊千恵子 ●渡辺静男 ●渡辺哲男 (H27.3.1~6.10)

後援会会員芳名 (敬称略)

- | | |
|---------|-----------|
| 青山百合子 | 戸塚保次 |
| 青野之映 | 戸巻紀美子 |
| 井上暉英 | 戸巻俊江 |
| 植松寛允 | 内藤恵美子 |
| 金刺廣道 | 西澤千佳子 |
| 川口明子 | 芳賀正治 |
| 栗山君代 | 芳賀道子 |
| 佐藤健治 | 富士ニュース社 |
| 白井ひろみ | 松本一繁 |
| 鈴木一美 | 望月保夫・瑠美子 |
| (有)鈴吉商店 | ヤマグチ電機(株) |
| (株)大松園 | 吉原教会 |
| 月岡米子 | |

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、お年寄りのために、温かいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 } 1□ 1,000円
個人会費 }

会 社 } 1□ 3,000円
団体会員 }

何□でも
結構です

振込先

①郵便局振替口座

- ・口座番号/00880-0-2423
- ・口座名称/芙蓉会后援会

②ゆうちょ銀行 ○八九店

- ・口座番号/当座 0002423
- ・口座名称/フヨウカイコウエンカイ

編集後記

今年の梅雨はジメジメしなかったので、例年の梅雨のシーズンと比べると過ごしやすく感じました。梅雨が終われば、暑い夏が始まります。

夏休みも近くなり、子ども達も楽しみが増えるので、気を引き締めて頑張ろうと思っています。